

先端工学基礎課程 2020年度 新1年生へ向けた学修要覧ガイド

先端工学基礎課程 教育委員

山本 野人 (yamamoto@im.uec.ac.jp)

古川 怜 (futurei@uec.ac.jp)

目次 (カッコ内は学修要覧のページに対応)

1. 学修要覧とは	…1
2. 在学4年間の流れ	
2-1. 卒業所要単位 (p.22, 136, 137)	… 2
2-2. 輪講 A/B(必修)履修条件 (p.18)と卒業研究履修条件(p.18, p.20)	… 3
3. 先端工学基礎課程 (K 課程) の特徴について (p.10)	… 4
4. 履修科目関連図 (p.138)	… 4
5. 昼間コース科目の履修について (p. 24)	… 5
6. 放送大学の科目の履修について (p.25, 167, 168)	… 5
7. 教職課程 (pp.41-43, p.160)	… 5
8. 輪講・卒研のための情報収集と履修計画	… 5
9. 長期履修制度 (pp.37-38)	… 6

1. 学修要覧とは

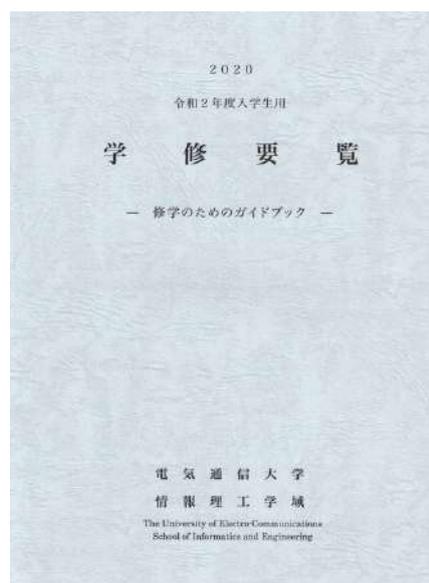
学位取得へ向けて必要なこと（主として履修について）が全てここに書いてあります。手にしたらよく読んで、卒業までの履修イメージを持ちましょう。疑問点は早期に解消しておきましょう。

【要覧に関する主たる問い合わせ先】

電通大 教務課 学域教務係

Tel: 042-443-5076

(要覧内には昼間コースに関連するものなど、直接関係のない内容もあるので、正しい箇所を参照しているか注意すること)



2. 在学4年間の流れ

2-1. 卒業所要単位 (p.22, 136, 137)

卒業所要単位
2.2 (夜間主コース)

区分		課程	先端工学基礎課程
総合文化科目		人文・社会科学科目	8
		言語文化科目	8
		健康科学科目	2
		理工系教養科目	2
		上級科目	4
	小計		24
実践教育科目		初年次導入科目	8
		産学連携教育科目	4
		技術者教養科目	2
		小計	
専門科目	理数基礎科目	必修	14
		選択	4
	専門基礎科目	必修	22
		選択	10
	専門科目	必修	12
		選択	18
		小計	
	共通単位		6
	合計		124

← p. 22

「夜間主コース (K 課程) の卒業所要単位の表」

- ・卒業するまでに最低で124単位の取得が必要
- ・それぞれの区分に相当する単位数の取得が必要
- ・区分の詳しい授業科目は p136, 137 を参照

*例として、理数基礎科目 (必修・選択) **赤枠部** を↓ p. 137 「夜間主コース (K 課程) 専門科目リスト」で対応させると、以下の箇所になります。

先端工学基礎課程 (夜間主コース)
6 専門科目

区分	授業科目	科目番号	単位数	必修 選択 の別	毎週授業時間数								備考		
					一年次		二年次		三年次		四年次				
					1	2	3	4	5	6	7	8			
理数基礎科目	基礎微分積分学第一	MTH101s	2	◎	2									14単位必修	
	基礎微分積分学第二	MTH201s	2	◎		2									
	ベクトルと行列第一	MTH102s	2	◎	2										
	ベクトルと行列第二	MTH202s	2	◎		2									
	基礎物理学第一	PHY101s	2	◎	2										
	基礎物理学第二	PHY201s	2	◎		2									
	基礎プログラミングおよび演習	COM201s	2	◎		2									
	化学結合と構造	CHM101s	2	○	2										4単位を修得すること。
	基礎解析学	MTH301s	2	○			2								
	基礎物理学第三	PHY302s	2	○			2								
専修	離散数学	MTH203s	2	◎		2									
	応用数学第一	MTH302s	2	◎			2								
	応用数学第二	MTH401s	2	◎				2							
	確率統計	MTH402s	2	◎				2							
	プログラミング通論および演習	COM301s	2	◎			2								

【用語解説】

科目番号： 履修登録などで使う授業に対応したコード

単位数： 授業をカウントする「単位」(注：1 授業≠1 単位)

*1 単位 = 授業時間+授業時間外合わせて 30-45 時間 (大学設置基準)

*例) 講義 1 時限 (90 分 を 2 時間と換算+4 時間の時間外学習) × 15 週 (1 学期)… 2 単位

*実験や実習: 1 時限 … 1 単位

*参考までに、卒業要件 124 単位 ≒ 72 時限相当

*参考までに、昼間働きながら夜勉強するとなると

平日 7 限+土曜 5 時限=10 時限 × 8 学期 = 80 時限

というペースになる。

選択・必修の別： ◎必修→ それぞれ必ず履修しなければならない科目群

○選択→ この中から必要数履修すれば良い自由度のある科目群

毎週授業時間数： 学習の物理的な授業時間に相当 (“2”というのとは 90 分の換算)

毎週授業時間数							
一年次		二年次		三年次		四年次	
1	2	3	4	5	6	7	8

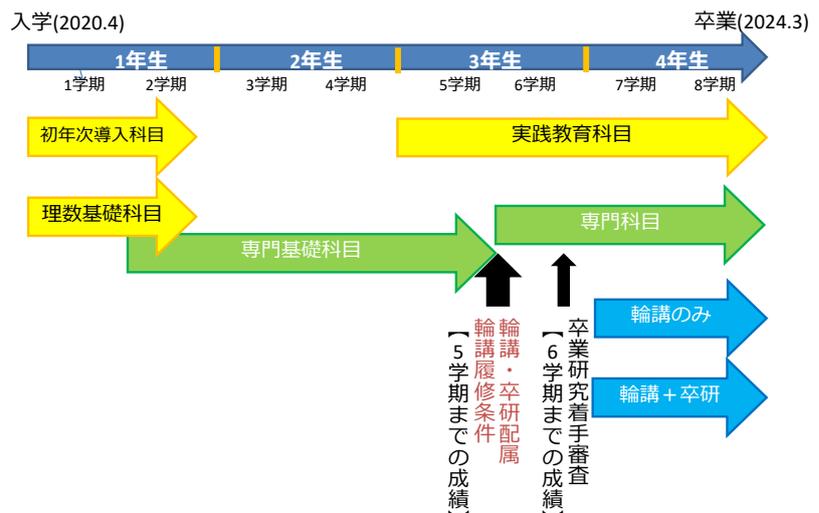
*このコーナーの 1-8 の数字について

1 → 1 年前期、2 → 1 年後期、3 → 2 年前期、4 → 2 年後期・・・というように前期後期に対応しています。

例えば教務係に問い合わせる時などに「3 年の科目で」というよりも「5 学期科目で」と言うことで、前期後期の判別をつけることができます。

2-2. 輪講 A/B(必修)履修条件 (p.18) と 卒業研究履修条件(p.18, p.20)

卒業までの大まかな流れは右の図のようになります。5 学期 (3 年前期)、6 学期 (3 年後期) にチェックポイントがあります。ここまでの単位取得状況および成績によって、輪講・卒業研究が履修できるかの判定がなされます。



輪講 A/B(必修)履修条件 (5 学期終了時) は以下の通りです。

- 卒業に必要な単位のうち 71 単位以上が修得されていること

卒業研究履修条件 (6 学期終了時) は以下の通りです。

- 卒業所要単位(124 単位)中 90 単位以上修得

5. 昼間コース科目の履修について (p. 24)

昼間コースの科目を30単位まで履修可能です(通称#科目)。ただし、同一名称、同一内容は不可。

例として、p.79の昼間科目表から#科目を探してみましょう
→→

#付き科目がついている科目が該当します。それぞれがK課程のどの「区分」に該当するかをチェックしておきましょう。申請には、つど課程長の承認が必要です。

科目区分	夜間主	授業科目	単位数	毎週授業時間数								備考		
				1	2	3	4	5	6	7	8			
メ グ イ 科 目	選 択	# ビジュアル情報処理	2						2					通年1-4年次開講
		# メディア論	2							2				
		# 音響信号処理	2								2			
		# 情報工学工房	2											
		# 応基礎数学演習第一	1	2										
		# 応基礎数学演習第二	1	2										
		# 応基礎物理学演習第一	1	2										
		# 応基礎物理学演習第二	1	2										
		# 応情報処理演習第一	2				4							
		# 応情報処理演習第二	2				4							
自 由 選 択 科 目	自 由	# マルチメディア処理	2						2					大学院連携科目
		# メディアアート論	2								2			
		# 知的学習システム	2									2		
		# コンピュータグラフィックス応用	2									2		
		# データマイニング	2									2		
		# 音声音響情報処理	2									2		
		# 学習工学概論	2									2		
		# インタラクティブシステム概論	2									2		
		# マルチエージェントシステム概論	2									2		
		# 実践ソフトウェア開発基礎論	2									2		
日 本 語 科 目	日 本 語	# 実践ソフトウェア開発基礎論II	2									2		大学院連携科目
		# 実践ソフトウェア開発基礎論III	2										2	
		# 画像認識システム概論	2										2	
		# 情報理論基礎	2										2	
		# 数理統計学基礎	2										2	
		# Topics in Informatics I	2											
		# Topics in Informatics II	2											
		# Topics in Informatics III	2											

注1. この表に記載されていない科目で、I類(情報系)の他プログラムに記載されている科目は、メディア情報学プログラムの学生も選択科目として履修することができます。ただし、実務科目は除く。
また、自由科目区分の科目は、そのまま自由科目の単位となる。
注2. 選択の科目は、外国人留学生のみ履修できる。
注3. 大学院連携科目は、大学院情報理工学研究所の授業科目であり、自由科目として単位を修得することができます。
注4. 国際科目については、表C.4にも記載されているので、参照のこと。また、各科目の開講学期、単位の扱いや履修条件は、年度によって異なる場合がありますので、年度ごとに公表する科目一覧表を参照のこと。
注5. 夜間主課の#印は、夜間主コース学生が選択科目、共通単位、あるいは自由科目として履修可能であることを示す。

6. 放送大学の科目の履修について (p.25, 167, 168)

放送大学の授業を履修し、「総合文化科目」の一部として充当することができます。30単位以内とし、20単位までが卒業単位として認定可能です。夜間コースは時間がタイトです。昼間コースの授業や放送大学の授業を活用して、履修計画に幅を持たせましょう。

7. 教職課程 (pp.41-43, p.160)

規定科目の履修をすると、高等学校教諭および中学校教諭の「数学」第一種免許状の取得が可能です。希望がある場合、これらの科目を履修計画に組み入れましょう。

8. 輪講・卒研のための情報収集と履修計画

最終年度の「輪講 A/B」(希望者は「卒業研究 A/B」も)は、研究室に配属して行います。そのため、配属を希望する研究室を考える上で、興味のある研究分野などについてあらかじめ情報収集することを推奨します。以下に学科および研究室の主たる情報収集源をリストしますので、ぜひ参考にしてみてください。

- Web 情報 (大学>研究・産学連携>研究者情報>研究室ガイド)

➤ 研究室公開を見に行く（2020年度の日程）

- オープンラボ（5/23 土曜日）
- オープンキャンパスの研究室公開（7/19 日曜日）

*新型コロナウイルスの影響で開催状況は不透明です！

9. 長期履修制度 (pp.37-38)

仕事の都合によって、4年間では卒業条件を満たすことが困難なことが発覚した場合は、審査を経て卒業年限を最大8年に延ばすことが可能な制度です。一般的な「留年」とは異なり、学費の納入総額は基本として一定で、延長した在学年数に合わせて分散されるようになります。ただし、就業状況とそれに整合する適切な履修計画が前提です。長期履修制度を利用した場合、状況に応じて延長・短縮が可能です。また、修業年の最終年次以降の学生を除き、取りやめも可能です。メンター教員と定期的に面談をし計画的に進めることが求められます。申請時期は、以下の通りとなります。

新入生: 入学時

在学生: 2月上旬 (3年次まで)

新入生の皆様の充実した
学生生活を祈念申し上げます。